

CONTENTS/目次

P2 ▶ 特集：親子で一緒に考えよう、青森で「働くこと」「暮らすこと」

P6 ▶ [連載] 地域から魅力発信！「ハッピー♡リレー」〈東青地域〉／地域の旬食材レシピ

P7 ▶ 青森の未来に全力！県職員最前線リポート「優良な農地を次世代へ引き継ごう！」／「あおもりおまもり手帳」を9月からお届けします！／建設業を楽しもう！子どもたちへ建設業の魅力発信

P8 ▶ 申吾のほっとコラム／あおもりインフォメーション



■表紙制作者からのメッセージ

子どもの頃に見た“景色”がその子のアイデンティティになる。

グッピーは、先祖から受継いだ遺伝子が多彩な色で現れる。それは唯一無二で面白い。可能性は無限に満ちている。しかし、その可能性を親が狭めているのかも。学歴、安定？郷土の悪口…創造性の乏しいレール敷いていませんか？でも実は解決策は身近にアリ。それは親が楽しむ姿を見せる事。子どもが一番近くでソレを見て成長する。自らの宿り木が楽しんでいれば、出て行く必要もない。仮に出てもいい。あなたの“笑顔”を思い出して、鮭のようにいづれ戻って来るだろう。それがまた郷土に笑みをもたらすはずだから。

デザインユニット『字と図』／コピーライターの妻(字)とデザイナーのよしだすすむ(図)による夫婦ユニット。里帰り出産を機に2013年秋、青森県十和田市に移住。制作物：『アオモリドラゲナイ・II』、『人幸増加大作戦！ロゴ』など。iFデザイン賞2017、グッドデザイン賞2010、日独交換カレンダー展銀賞など他多数受賞。●Web→<http://jitozu.com/>



就職は 県内？ 県外？

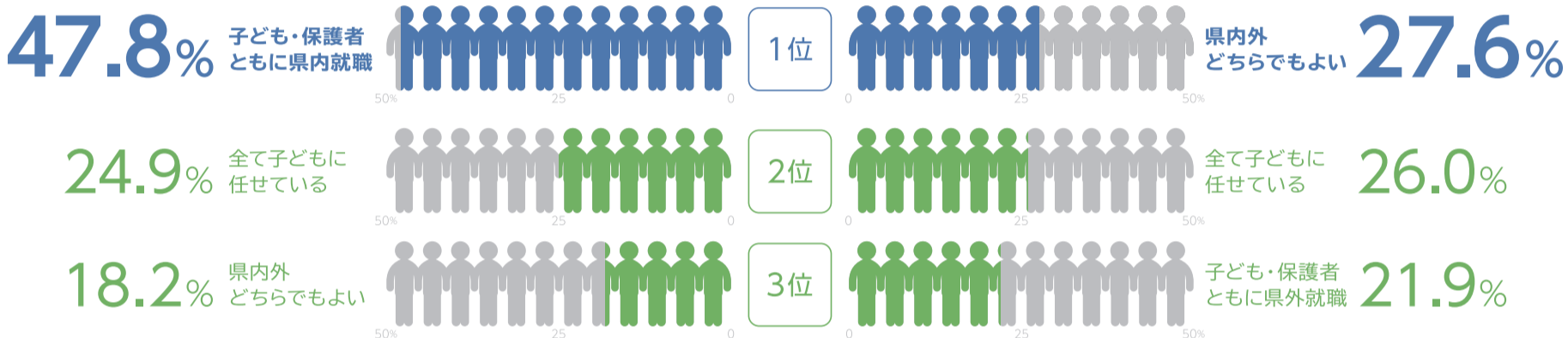


ご存じですか？ 保護者の「意識」が
子どもに影響していることを…

県内・県外就職の希望

子どもが**県内就職**の保護者

子どもが**県外就職**の保護者



保護者の意識が子どもの就職先（県内・県外）の選択に少なからず影響を与えています！

出典：青森県教育庁（平成28年度高校生の就職に関する意識調査）

「そんなこと言ったらって、青森県は働く場所が少ないじゃないか」と思う方もいるでしょう。もちろん、職種、給料など、希望する条件に100%かなうものは少ないかもしれませんが、青森県では、仕事を求めている人1人に対し何人の求人があるかを示す有効求人倍率が年々上昇しており、平成21年度に0.29倍だったものが、平成29年度は過去最高の1.27倍となりました。特に、医療福祉、建設、宿泊飲食といった分野では、人手不足が続いています。「青森県には仕事がない」というのは過去の話なのです。

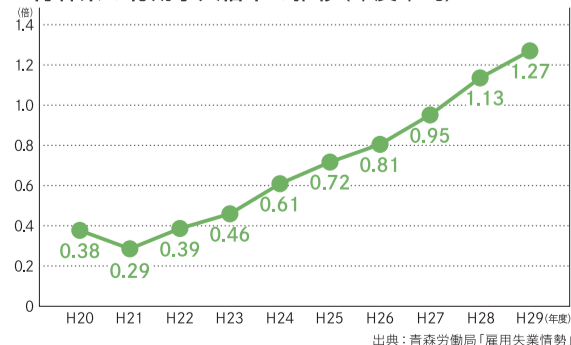
「青森県には仕事がない」というのは過去の話

「高校を卒業したら、県外に就職する」というのは、青森県内では普通のことと思われるかもしれませんが、全国的に見ると、決して普通ではありません。今や、高校生は地元就職が当たり前。平成29年3月高等学校卒業業者（就職希望者）の県内就職率は、全国平均で81.2%。一方、青森県は57.5%で、全国44位。ちなみに岩手県は67.8%、秋田県は65.0%で、青森県より10ポイントほど高くなっています。

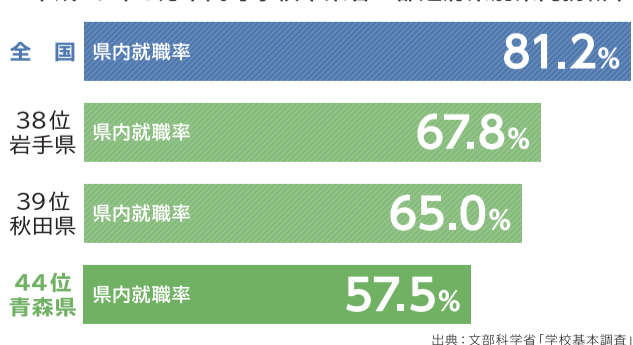
全国の高校生の8割が地元就職

「高校生の就職は地元」が
当たり前

■青森県の有効求人倍率の推移（年度平均）

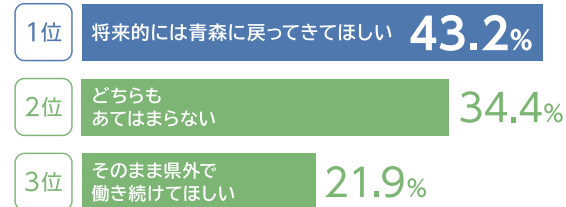


■平成29年3月卒高等学校卒業業者の都道府県別県内就職率



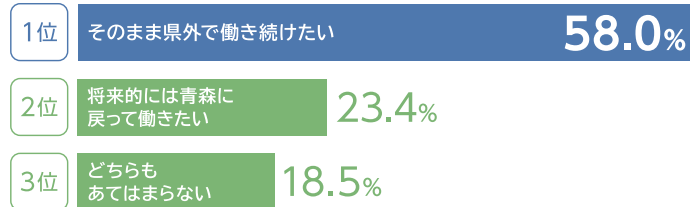
約4割の保護者は「青森県に戻ってきてほしい」、約6割の子どもは「県外で働きたい」

■子どもが県外に就職した後は？(保護者)



(県外就職希望の生徒の保護者のみ回答)

■県外に就職した後は？(子ども)



(県外就職希望の生徒のみ回答)

出典：青森県教育庁(平成28年度高校生の就職に関する意識調査)

「将来青森に戻ってほしい」と
願う保護者は約4割！

子どもは
親の気持ちがわかる

右のページの上のグラフは、就職希望の高校生と保護者へのアンケート調査の結果です。県内就職を希望する生徒の保護者の半数は、子どもの県内就職を希望しています。一方、県外就職を希望する生徒の保護者は、「県内外どちらでもよい」、「子どもに任せている」、「県外就職」の割合が高く、保護者の意識が子どもに影響を与えているようです。子どもには親の気持ちが伝わっています。

子どもの人生は
子どものもの。だけど…

子どもには、「親のことは考えず、自分の夢をかなえてほしい」と、親なら誰もがそう思うでしょう。都会でなければ実現できない夢もあります。県外に出て、勉強をしたり、技術を身に付けたり、いろいろな人と出会い、さまざまな経験をすることも大切です。

一方で、交通網やインターネットが発達し、青森でもチャレンジできることがたくさんあります。県内では、近年、自ら事業を立ち上げる若者が大変増えており、昨年度は、過去最高の129人に達しました。

通勤や住居など、生活環境も合わせて考えると、青森で働くことには、さまざまなメリットがあります。お父さん、お母さん。子どもたちと、「青森で働く」、「青森で暮らす」という選択肢がある、ということについて話し合ってみてください。

青森で「働くこと」
「暮らすこと」を
親子で考えてみませんか？

数年前とは違い、
青森県にはたくさんの求人があり
さまざまな働き方を選ぶことができます。

新規高等学校卒業生(平成30年3月)
県内求人倍率

2.75倍 (平成30年5月末現在) 出典：青森労働局

就職率及び就職内定率(平成30年3月)

新規高等学校卒業生就職率

99.9% (平成30年5月末現在)

新規大学等^{*}卒業予定者就職内定率

97.5% (平成30年3月末現在) 出典：青森労働局

人手が不足している主な産業(平成29年度)

建設業	11.8%
宿泊業・飲食サービス業	15.5%
情報通信業	14.6%
小売業	17.4%
医療・福祉	23.5%

充足率：ハローワークの紹介により就職した人数を
新規求人数で割って算出したもの
出典：青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務統計」
産業別新規求人・充足状況(新規学卒を除く)



ホッペの子ども



三浦 晋悟さん 舞さん

晋悟さんは十和田市出身。舞さんは函館市出身。共に神奈川県内の大学病院で看護師として働いていた時に出会い、2017年11月結婚。2018年4月、十和田市に拠点を移し、現在、看護師として共に十和田市立中央病院に勤務。

U・Jターンした看護師夫婦。仕事も余暇も充実！

帰るなら今がチャンス！
大学病院を辞め十和田へ

Q Uターン・Jターンした理由は？

晋悟／私たちは、それぞれ学生時代に奨学金を借りていたので、その返済の関係で神奈川の大学の系列病院に就職しました。日頃から、首都圏の人の多さと自然の少なさに住みにくさを感じていて。奨学金を返す終わった頃、やはり暮らすなら地元がいいなと思いはじめました。

調べてみると、十和田市立中央病院がUターン者を積極的に受け入れていることを知り、しかも、採用年齢はぎりぎり。「帰るなら今しかない」と決意しました。

舞／夫から「自分が生まれ育った地元へ帰って看護師として貢献したい」という相談を受けた時は、正直驚きました。でも、私も都会よりも自然豊かな場所で暮らしたかったので、「ついでにこううー」って。

それに、北海道新幹線が開業して、私の実家がある函館と青森が近くなったことも決めた手になりました。

Q 両親への相談は？

晋悟／特に相談はしませんでしたね。でも、帰ってきたことで両親は喜んでいないかな…。

舞／私の両親は、「函館とも近くなので会える機会が増えるね」と喜んでくれました。お義父さんも「息子が帰ってきてくれてうれしい。近くにいると本当に心強い」と私に話してくれました。面と向かって息子には言わないけど、内心ではすごく喜んでくれているんだなと感じました。

家庭菜園に温泉巡り

都会にはない豊かさを実感

Q 首都圏との生活環境の違いは？

晋悟／山並みなど自然が美しく癒やされます。神奈川のアパートは2DKでしたが、今は3LDK。広くて新しく家賃が安いので住み心地抜群です。衣類や日用品は、もともとネット購入していたので特に不便さは感じませんね。以前より賃金は減っ

親のホッペ

三浦晋悟さんのお母さん

言い出せなかった「帰ってきて」のひとつ

「いつかは息子が地元へ帰ってきてくれたら…」という思いはありましたが、本人の負担になってはいけないので伝えたことはありませんでした。ですから、十和田に戻ると聞いた時は「まさか!」という驚きとともに、うれしさでいっぱいになりました。「十和田は都会のように何でも揃っているわけではないけど、食べ物がおいしいし環境もいい。暮らすにはとてもいいところだよ!」と、伝えました。

近くに息子夫婦がいる心強さと安心感!

息子が好きな料理を作った時は、帰りに立ち寄ってもらいお裾分けしています。2人がおいしいと喜んでくれるとうれしくて私自身の励みにもなっています。息子が野菜や果物作りをやってみたいと言うので、我が家の庭の畑や、五戸町にある夫の実家の畑でりんごやブルーベリーなどを栽培しています。息子夫婦と過ごす時間は楽しいし、何より安心感があります。

たものの、家賃や物価など生活コストが安くなったので、トータルでは変わらないですね。

舞／都会に比べて遊ぶ場所は限られますが、自然、温泉、食べ物などそれ以上の魅力がたくさんあります。休みの日は、2人で八甲田周辺にある温泉巡りを楽しんでいます。

Q これからやりたいことは？

晋悟／実家の庭や祖父の畑で、父と一緒に野菜や果物作りを始めました。自然のなかで過ごす時間がすごく楽しいです。

舞／私も家庭菜園や田植えにも挑戦してみたい！お義母さんから十和田のおいしい野菜をたっぷり使った「鶏汁」の作り方を教わったので、地元の食材を使ったいろいろな料理にも挑戦し、十和田での暮らしを楽しみたいと思います。

放送局	番組名	放送日時
青森放送	大好き、青森県。	8月19日(日) 17:00~17:15
青森テレビ	みんなの県庁!	8月4日(土) 16:55~17:00
		8月11日(土) 16:55~17:00
		8月18日(土) 16:55~17:00
青森朝日放送	メッセージ	8月11日(土) 9:30~9:35

8月
特集関連番組 放送予定

職場のホッポ



やな ぼ り り こ さん
築場 理利子さん

十和田市立中央病院 看護局長
 認定看護管理者 助産師
 八戸市出身。2016年4月から現職。
 県外で暮らす3人の息子がいる。

UIJターナーを受け入れ
 スキルを生かす取組を実践！

多様な人財の交流で
 看護サービスが向上！

当院では、Uターナー者を積極的に

受け入れるとともに、これまでのスキルを存分に生かせるような取組を行っています。青森

COC+推進機構主催の研修会でホームページ制作について学び、今年1月、看護局のホームページをリニューアルしました。「Uターナー大

歓迎」のフレーズを大きく掲げ広く情報発信しています。

各部署には、新人とスタッフの橋渡し役をする「エルダー」を配置し、新人の精神的なサポートを行っています。スタッフの意見を積極的に採用しており、現在「ノー残業デー」に向けた取組を検討中です。

新しい風を入れることで、他のスタッフも刺激を受け看護サービスの質が向上しています。当院には日本看護協会認定の「認定看

護師」が8人います。その人たちをフルに活用することで、地方の病院でありながら全国平均以上の質の高い看護を目指し、提供できるのが誇りです。

今春採用の三浦晋悟さんと三浦舞さんは、首都圏の大病院で働いてきただけあって経験値も高く、医師からも信頼されています。特に晋悟さんは、認定看護師の資格取得を視野に入れているそうなので、これまで磨いたスキルをぜひふるさとの医療に生かしてほしいですね。

個人的な話ですが、我が家にも県外に住む3人の息子がいます。好きな仕事をしたいと願う一方、心のどこかで「1人でも地元に戻ってきてくれたら安心なのに」と、思うことも。多くの親御さんも同じように考えていると思うので、学生の方はもちろんUターナーを考えている方は、ぜひ青森で働く可能性について検討してみてください。



柿崎こうこの 青森の最強、水と空気

絵の勉強をするために上京したのは27年前。当時、猛烈に都会に憧れていた私は、自己紹介的な場面になると自嘲気味に「青森生まれです。なんにもない田舎ですけど」と言ったものでした。ところが今では、「いいところなんですよご飯がおいしい！ぜひお出かけください」と胸張ってアピールに勤しんでいます。

このコラムを書くにあたり、担当者Hさんに「新青森駅に降り立った瞬間、空気がうまい！って思うんです」と言ったらかなり驚いていましたが、特筆すべきは「水」です。帰省中に肌のキメが変わると言ったら驚かれるでしょうか。洗顔、お風呂が肝。何年も観察したこの説、自信あります！



柿崎 こうこ/イラストレーター。青森生まれ。食をはじめ、旅、美容、健康などライフスタイルをテーマとしたイラストが人気。雑誌、広告、書籍などを中心に活躍中。
 柿崎こうこHP「ビューティセブン」/ <https://www.kakizakikoko.com>
 @koko_kakizaki_illustration

子どもたちに教えてあげて 県外からも検索できます！

青森県合同企業説明会

日時：平成30年8月18日(土) 12:00~16:00

会場：リンクステーション青森 5階大会議室

<http://aomori-u.net/>

※対象者：平成31年3月卒業予定の大学・短大・高専・専修学校生、卒業後も就職活動を継続中の3年以内の既卒者 ※弘前・八戸から無料送迎バス運行予定(要予約)



あomorUIJターナー就職支援サイト

『Aomori-Job』

あomorいで、働く。 <https://aomori-job.jp/>

UIJターナーでの就職活動やインターンシップ参加のための交通費を助成しています

※助成内容：県内で開催する企業説明会、採用試験・面接、インターンシップに参加する際の交通費
 ※助成額：助成対象経費の2分の1に相当する額又は17,000円のいずれか低い額



青森県の暮らしやすさ紹介サイト

『アオモリドラゲナイ』

<http://kurashiyasusa.aomori-brand.jp/>



Happy

町・夏泊半島のビーチを舞台にしたクラフトイベント。美しい景観と自然が今でも残る椿山をPRしようと、平内町

の「椿山クラフトキャンプ」と「ひらな」MIRAI商店街」というイベントです。

平内町で実施するイベントを企画・運営し、町にぎわいをおこしている「平内町商工会青年部」。「町で商売する人や、起業する人を増やしたい」というのが一番の活動軸ですが、その先に見据えるこれからの商売のかたちや地元平内町への熱い思いによって、すてきな企画が生まれています。

人が人を呼ぶ。その連鎖で平内を元気に。

連載
地元人がレポート！
地域から魅力発信！
ハッピー♡リレー
vol.2 | 東青地域
平内町商工会青年部
— 平内町 —



平内町で活動しているクラフト作家をはじめ、飲食店、体験ワークショップなど、幅広い出店者が集結。また、平内町自慢の美しい海で体験できるアウトドアスポーツSUP(サップ)を実施し、自然を満喫。

椿山クラフトキャンプ2018 | 今年も開催！
日時：8/18(土) 11:00～16:00
19(日) 10:00～15:00 (2日間)
会場：平内町椿山海水浴場
(東津軽郡平内町大字東田沢字横峯)



左から、渡辺悟さん、武田勇紀さん、畑井忠澄さん。30名ほどの平内町商工会青年部をまとめるコアメンバー。自分たちに続く若い世代の人材発掘にも力を入れている。

青森市在住のライター
まりな
鈴木 麻理奈さん

今回の推薦者

青森市出身。不定期発行「KONOHEN journal」編集部。青森県内で自分らしく生きている人、すてきなモノ、コトを紹介する冊子を発行。



Profile

平内町商工会青年部

18～45歳までの平内町商工会会員が所属する。平内のまちづくりの先導役として、さまざまな団体とコラボしながら、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層で楽しめるイベントを企画。平内町を楽しく元気にするべく、積極的に活動している。



子どもの木登り体験や平内ならではのホタテの貝を使ったワークショップも。出店者と来場者との間に生まれる笑顔があちこちで見受けられたのが印象的。

※写真は今年の「椿山クラフトキャンプ」の様子

鈴木さんが選ぶ地域の旬食材
「青森ホタテ」



なぎさPoint

お好みでパプリカなどの夏野菜を加えたり、ホタテをさっとあぶって使うと違った食感が楽しめます！



食育料理家
フードクリニック「なぎさカフェ」
オーナーシェフ

なぎさなおこ

八戸市在住。病気予防の食事をコンセプトにした旬のやさしいたっぷりの家庭料理が人気の「なぎさカフェ」を経営。食育や調理指導など講師として全国で活動中。

このレシピは
アメブロ☆幸せななぎさごはん
にも掲載しています。

Healthy Point

- お酢やレモンの酸味で減塩！
- トマトでボリュームアップ & ヘルシー！
- ホタテはタウリンが豊富！ 肝臓を元気に！



ホタテとトマトの さっぱりマリネ

エネルギー：339kcal・塩分3.3g(4人分)

【材料：4人分】

- ホタテ 6個
- トマト(大) 1個
- たまねぎ 1/8個
- パセリ 少々
- 〈マリネ液〉
- オリーブオイル 大さじ2
- 酢(またはレモン汁) 大さじ1
- はちみつ 大さじ1
- 塩、こしょう 少々

【作り方】

- ホタテは、殻から外して、貝柱を取り出す。
- ホタテの貝柱とトマトは、一口大の大きさに切る。
- たまねぎとパセリは、みじん切りにする。
- マリネ液の材料をボウルに入れて混ぜたら、②③を加えて混ぜ合わせる。
- 冷蔵庫で冷やしたら完成



翌日以降は、生ホタテを加熱して、パスタにアレンジ！

レシピアレンジの詳細はFacebook
青森県広報広聴課

優良な農地を次世代へ引き継ごう！



構造政策課
やす た なお き
安田 直樹

のどかな田園風景を眺めて気分リフレッシュ。県産品を食べて体力回復。これまた明日から全力で頑張れます。

取組紹介

私は、農地の貸し借りによって、農業経営の規模拡大と農作業をしやすい環境づくりを進める仕事に携わっています。

青森県では、地域の自然環境を生かして、季節ごとにたくさんの種類の農作物が生産されています。しかし、農業者の高齢化や後継者不足などにより、農地が耕作されずに放棄されていく心配があります。

県では、農地の有効利用と経営規模を拡大する農業者を支援するため、農地を貸したい方と借りたい方を仲介する「農地中間管理事業」の取組を進めています。

【農地中間管理事業の取組】

農地中間管理事業は、公的機関の「農地中間管理機構（農地バンク）」が仲介役になって、農地

を手放したい方や農業規模を縮小したい方の農地を一旦借り受け、農業経営の規模を拡大したい農家などに貸付する制度です。農地を貸した方は、農地中間管理機構から賃料を毎年受け取ることができ、また、契約期間終了後、農地は貸した方に確実に戻ります。一方、農地を借りた方は、まとまった区画で借りることができるので効率的な農業経営ができるなど、貸した方、借りた方の双方にメリットがあります。

農地を貸したい方、借りたい方は、農地中間管理事業をぜひご利用ください。

詳しい内容については、お住まいの市町村農業担当課、農業委員会へお問い合わせください。

業務にかける思い

青森県は、安全で安心な農作物を生産する全国有数の食料供給県であり、これを支えるのは優良な農地です。農地中間管理事業を利用した方から、“畑を耕す人がいなくて困っていたが、先代からの畑を守ることができてよかった”とか“田んぼをまとめて借りることができて、作業がしやすくなった”という話を聞くと、この仕事は

青森県の強みである農業を支える、大切な役割を担っていることを実感します。

これからも美味しくて品質の良い農作物を県民の皆さんに届けていくためには、優良な農地を守っていくことが重要となります。先人が守ってきた農地を次の世代に引き継いでいけるよう、これまで以上に農地の有効利用に取り組んでいきます！



農地中間管理事業のイメージ



事業関係者との現地打合せ

詳しくは、県庁HP [農地中間管理機構](#) 構造政策課 ☎017-734-9462

「あおもりおまもり手帳」を9月からお届けします！



■「あおもりおまもり手帳」とは

さまざまな災害からの身の守り方、避難生活で役立つ知識、青森県で起こりうる災害、今からできる事前の備えなどを分かりやすくまとめた青森県版の防災ハンドブックです。災害が発生した際に、自分や大切な人の命を守るためのおまもりとして、内容を十分に確認し、大切に保管しましょう。

■「あおもりおまもり手帳」を活用しよう

この手帳には、災害に備えて備蓄しておきたい食品や生活用品、避難する際の持出品がチェックリスト形式でまとめられています。必要な物を1つずつ確認し、足りない物はあらかじめ準備しておきましょう。

また、家族の情報や緊急時の連絡先、避難場所・避難所までの避難経路が書き込めるようになっています。家族みんなで事前に確認して書き込んでおきましょう。

そして、目に付く場所に置いて、定期的に内容を確認し、いざという時に備えましょう。

■配布時期

平成30年9月から順次、県内の各ご家庭にお届けする予定です。

詳しくは、[あおもりおまもり手帳](#) 防災危機管理課 ☎017-734-9181



青森県防災ハンドブック
公式マスコットキャラクター
「おまもり」

建設業を楽しもう！子どもたちへ建設業の魅力発信

建設業は、社会資本の整備をはじめ、除雪や災害対応を担うなど地域にとって不可欠な産業ですが、近年、若い世代の就業者数の減少が課題となっています。

そのため、県では、地域の守り手でもある建設業の持続的な発展を図るため、将来の担い手となる子どもたちに次のような取組を実施します。

取組1 児童・生徒向け公開講座・工作体験

土木や建築をわかりやすく紹介する公開講座やものづくりへの関心を育む工作体験を通じて、楽しみながら建設業への理解を深めていただきます。

▶9月22日(土)
アスパムにて開催予定



取組2 建設業の魅力を再発見！夏休み親子バスツアー

夏休み親子バスツアーでは青森市に建設中の新青森県総合運動公園陸上競技場と青森空港を見学していただきます。

▶8月8日(水)に弘前市とその近郊にお住まいの方、10日(金)に八戸市とその近郊にお住まいの方を対象に開催予定



これらの取組を通じて子どもたちと保護者の方に建設業に身近に接していただき、「自分の思いを形にできる」「地図や人々の記憶に残る」そんな建設業のやりがいや魅力をぜひ知っていただきたいと思っています。

詳しくは、[青森県建設業 次世代](#) 監理課 ☎017-734-9706



なでしこ・ドボきら・林業女子

青森県知事 三村 申吾

おまじないでも、早口ことばでもない。この3者は、今、女性人材きらめく青森県づくりに一番元気に活動しているグループである。

「なでしこ」は、正式名「あおもり女子就活・定着サポーターズ」、通称「あおもりなでしこ」。

彼女らは、本県出身の県内外の女子学生及び若手女性社員等の「県内就職×キャリアプランニング」を応援している。

もう少し具体には、県内、東京、仙台、盛岡等で就活中の女性達に寄り添う交流会を開いたり、女性が活躍している企業見学会等を実施し、県内就職(青森で一緒に働こうよ、共に輝こうよ)の促進に大いに役立っている。

青森で元気に活躍する同志たる“次世代なでしこ”をどんどん増やしていくことで、女性にとっても生きがいにあふれる青森をつくろうと懸命に活動している。

「ドボきら」は、正式名「あおもりドボジョきらきら推進チーム」、通称「ドボきらチーム」。

民間の「女性建設技術者ネットワーク会議」と連携しながらも、県庁職員として土木系職種の魅力や、女性職員の活躍状況の庁外発信、土木系女性技術者の増加に向けた方策の検討、技術勉強会や人材育成の取組等を行っている。

土木職、農業土木職、総合土木職の女性職員で結成されており、道もつくれば、橋もかけ、河川・急傾斜地の防災でも土地改良事業でも、実際の現場仕事をこなしながら活動中である。

実はプロの説明要員として予算要望にも帯同するのだが、時に直球、「私は、県民の安全・安心のために、このダムを造りたくて県庁に入ったのですが、ダムへの工事用道路予算だけというのは納得出来ずに今日知事と来ました」とはっきりアピールしてくれる。

「林業女子」は、正しくは「林業女子会@青森」。女子のチカラで林業を盛り上げたい!の思いで、2010年に京都の学生を中心に始まったムーブメントが各地に広がり、本県では昨年結成された。

森林や林業に興味のある女子が集まっており、仕事で森に関わる女子だけではなく、職業もキャラクターもバラエティに(公務員始め、建築士、会社員、花屋さんから主婦まで)あふれている。

山のイベントや勉強会、気軽なお茶会や時に飲み会など自由な活動の中で、森林・林業について楽しく学び考えながら、その魅力や森林と共にある豊かな暮らしを見つめ直し、それを広く発信することにより、森林と人、人と人とを繋げていこうとしている。

こうして三者三様に活動中なわけだが、私たちの青森でぐんぐん女性が活躍できる道を拓き、女性に選ばれる青森にしたいという思いは共通している。

さて、本県の女性社長率日本一が話題になっているが、県として創業・起業を親身になって徹底支援し、多種多様な仕事に興せる(つまりは、多様な生き方にチャレンジ出来る)青森を目指してきた。その成果として、この3年では306名の創業・起業があり、その4割近くが女性である。

近年、まさに女性の元気がぐーんと満ちる青森が実感されるようになってきたのではなからうか。

帰りなん、向かわん!いざ、青森へUIJターン!

個人事業税の第1期の納期限は8月31日です!

個人事業税は、物品販売業、不動産貸付業、医業などの事業を営む個人の方に、前年中の所得をもとに課税される県の税金です。

8月上旬に送付される納税通知書により、原則として8月と11月の2回に分けて納めていただきます。

今年度の第1期分の納期限は8月31日(金)です。期限までにお近くの金融機関やコンビニなどで納めてください。

個人事業税に関するご相談は最寄りの地域県民局県税部にお気軽にお尋ねください。

詳しくは、県庁HP 税務課 ☎017-734-9064

平成30年住宅・土地統計調査を実施します

住宅・土地統計調査は、住生活に関する最も基本的で重要な調査で、県内では、約37,000世帯が対象となります。調査では、住宅数や居住状況、空き家の実態などを把握し、結果は、住生活基本計画の成果指標や空き家対策条例の制定などに利用されています。

9月から、調査対象地域にお住まいの世帯に、調査員証を持った調査員がお伺いしますので、ご協力をお願いします。

詳しくは、県庁HP 統計分析課 ☎017-734-9169



イメージキャラクター「ハウス君」

みんなで「だし活」! SNS写真コンテスト開催!

だしのうま味を活用して減塩を進める「だし活」は、今年で5周年を迎えます。そこで、初めての「だし活」やいつもの「だし活」など、いろんな「だし活」写真を、SNS上にアップする写真コンテストを開催しています!

- 募集期間/募集中~8月31日
- 参加方法/「だし活」にまつわる写真に「#だし活青森」をつけて、FacebookやInstagramにアップ!
- 賞品/最優秀賞1名 5万円分の旅行券ほか
上位入賞者5名程度 「できるだし」商品詰合せ



初めてのだし活! #だし活青森

詳しくは、県庁HP 総合販売戦略課 ☎017-734-9572

高等学校予約奨学生募集 ~高校進学前に奨学金を予約する制度です~

- 対象/保護者が青森県内にお住まいの方で、
来年4月に高等学校進学を希望する中学3年生
- 貸与月額/次のうち、奨学生が必要に応じて希望する金額
ア:18,000円 イ:23,000円 ウ:30,000円 エ:35,000円
- 募集人員/約500人
- 返還/無利子で、貸与終了後1年据置、貸与期間に3を乗じた期間内に
全額返還(3年間借りた場合は9年間で返還)
- 申込・締切/県内の各中学校にある「予約申込書」と添付書類を、在学する中学校が
指定する日までに中学校へ提出(中学校から本会への締切は9月10日(月))

詳しくは、県庁HP 青森県育英奨学会(教職員課内) ☎017-734-9879

みなさんと県庁を結ぶ
県政インフォメーション

テレビ ■ RAB「LINK/青森県」(30秒スポット) ■ RAB「大好き、青森県」(第三日曜日)17:00~17:15[放送週が変更になることがあります] ■ ATV「みんなの県庁!」(土)16:55~17:00 ■ ABA「メッセージ」(土)9:30~9:35
ラジオ ■ RAB「青森県広報タイム」(月)~(木)7:30~7:35 ■ エフエム青森「あおもり・ふあん」(月)~(金)16:55~17:00 ■ エフエム青森「申吾のほっとチャンネル」(第一日曜日)7:00~7:30
新聞 ■ 「広報あおもりけん」(毎月1日・16日) 東奥日報・デーリー東北・陸奥新報
HP/Twitter ■ 県のホームページ <http://www.pref.aomori.lg.jp/> ■ 青森県庁Twitterアカウント (@AomoriPref)

編集 青森県広報広聴課 〒030-8570 青森市長島1-1-1 ☎017-734-9137 ※「県民だよりあおもり」は点字版・録音版も発行しています。ご希望の方は広報広聴課までお知らせください。
発行 ※今後の広報紙制作の参考とするため、「県民だよりあおもり」に関する皆さまのご意見・ご感想を郵送でお寄せください。

この印刷物は522,000部作成し、印刷経費は1部当たり9.3円です。